

別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況(令和4年度)

事業実施主体名 (協議会名)	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見				
											作成年度	基準年度	目標年度	被害金額(万円)			被害面積(ha)							
														対象鳥獣	基準値	目標値	実績値	達成率			基準値	目標値	実績値	達成率
栗原市鳥獣被害防止対策協議会	栗原市	栗原市全域	H31	R1	イノシシ	有害捕獲	<<りわな103基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R2.3	100%	<<りわなの購入により、捕獲体制が強化され、捕獲頭数が増加した。(R1:58頭、R2:184頭、R3:137頭、R4:248頭)	H30	H29	R4	ツキノワグマ	16.5	13.2	0	500	0.26	0.208	0	500	それぞれ個体数の変動もあるが、被害調査やパトロール活動を強化し、<<りわなを購入し捕獲体制も強化、また侵入防止柵を令和3年度に初めて導入したこと、一定の防除効果は得られているものの、イノシシに関しては生息域の拡大及び個体数の増加が著しく、被害面積及び被害額は増加した。 特に、侵入防止柵が未設置の農地において被害が増加しており、引き続き侵入防止柵の設置推進や地域ぐるみによる耕作放棄地などの緩衝帯の整備など、捕獲と環境整備を効果的に組み合わせた被害防除対策の推進に取り組んでいく。 今後は上記をふまえて、目先だけではなく5年、10年程度の中長期プランでの計画、目標を見据えて取り組まねたい。さらに、これらを住民と共有することが重要であり、今後の生息状況や対策によって得られるであろう効果と、住民がイメージしている効果(例えば、対策をしたら元のようにイノシシがいない生活ができるはず)に乖離が生まれてしまうと、効果を実感できずに対策意欲が低下してしまう可能性がある。研修会などによる住民への周知や、地域の対策計画を行政が支援(補助金や専門家との体制構築など)しながら一緒に取り組むことで対策イメージを共有し、総合的な対策に取り組まれることを期待したい。
					イノシシ	有害捕獲	<<りわな3基修繕	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R2.3	100%	また、進入防止柵を整備した地区では、出沒件数が減少し被害を減少させることができた。(出沒件数 R3:288頭 → R4:207頭)	175.8	140.6	531	-1010	1.59	1.272	5.28	-1160					
			R2	ツキノワグマ	有害捕獲	箱わな10基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R3.3	100%	市民向け研修会	2.0	1.6	0	500	0.02	0.016	0	500						
				イノシシ	有害捕獲	<<りわな238基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R3.3	100%	イノシシとツキノワグマを主体とした鳥獣被害防止に関する知識・技能の習得と地域ぐるみで行う被害防止対策に係る地域リーダーの育成等を目的として、鳥獣の生態や地域ぐるみの被害防除に係る知識に精通している講師を招聘して、鳥獣被害対策に係る正しい知識を身につける機会を設け、意識啓発に繋げた。														
				イノシシ	有害捕獲	イノシシ捕獲137頭	栗原市鳥獣被害防止対策協議会																	
			R3	イノシシ	有害捕獲	箱わな10基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R4.3	100%															
				イノシシ	有害捕獲	<<りわな244基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R4.3	100%															
				ハクビシンタヌキ	有害捕獲	箱わな13基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R4.3	100%															
				イノシシ ニホンジカ	有害捕獲	イノシシ(成獣)捕獲207頭 イノシシ(幼獣)捕獲15頭 ニホンジカ(成獣)捕獲1頭	栗原市鳥獣被害防止対策協議会																	
			R4	イノシシ	ワイヤーメッシュ柵	イノシシ 5,800m	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R4.3	100%															
				イノシシ	ワイヤーメッシュ柵	イノシシ 660m	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R5.3	100%															
				イノシシ	ワイヤーメッシュ柵	イノシシ 3412m	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R5.1	100%															
				イノシシ	ワイヤーメッシュ柵	イノシシ 1300m	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R5.3	100%															
				イノシシ ニホンジカ	有害捕獲	イノシシ(成獣)捕獲261頭 イノシシ(幼獣)捕獲26頭 ニホンジカ(成獣)捕獲12頭	栗原市鳥獣被害防止対策協議会																	
				ツキノワグマ	有害捕獲	箱わな2基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R5.2	100%															
				イノシシ	有害捕獲	<<りわな360基	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R5.3	100%															
				イノシシ	被害防除	市民向け研修会	栗原市鳥獣被害防止対策協議会	R4.10																
														合計	192.3	155.4	531	-918.9	1.87	1.496	5.28	-911.8		

注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。
 注 2:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
 注 3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
 注 4:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況を様式に具体的に記載し、添付すること。